

A) 欧米豪先進諸国へ留学（高校生、大学生）

接種日	Tdap	IPV	B型肝炎	髄膜炎	A型肝炎	MMRV	IGRA	インフル	HPV9	証明書
初日	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	△	□	
1週間後						不足を追加				○
3～4週間後		○	◎		(○)	(◎)				◎
2カ月後									□	
6カ月			◎		○				□	◎
1年後										

【◎:ぜひとも[推奨] ○:できるだけ[推薦] □:できれば[推選] △:希望なら】
 (MMRV:麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査、IGRA:結核を否定する検査)

北米の南部/西部の州はA型肝炎も必要。郊外での生活ならA型肝炎も追加する。17歳までは6か月間隔での2回法で可。A型肝炎/B型肝炎の3回目は渡航に間に合わなければ現地で、あるいは帰国後に追加することを忘れない。英文証明書を持参。締め切りに合わせて最短では1週間後、通常は1か月後に発行。最終版は渡航時に合わせる。学童でもインターナショナルスクールへ入学なら、その学年に合わせてこの基準に準ずる。米国はすべて留学。髄膜炎ワクチンはA/C/Y/W135の4価ワクチン(MCV4)を接種する。

米国は12歳とその5年後に接種している。大学生は2回の記録を要求されることもあるが1回のみ記載する。時にB型髄膜炎ワクチンを要求されることもあるが現地で追加する。

これは北米留学を想定しての標準的な基準。西欧豪州では細かな基準はないが安全に留学するためには同様に済ませたい。西欧豪州では髄膜炎は4価だけでなくB型も要求されることがある。

B) ロシア、東欧諸国へ留学（高校生、大学生）

接種日	Tdap	IPV	B型肝炎	A型肝炎	ダニ脳炎	髄膜炎	MMRV	IGRA	インフル	HPV9	証明書
初日	◎	(○)	◎	◎	◎		◎	○	△	□	
1週間後							不足を追加				○
3～4週間後			◎	(○)	◎	◎	(◎)				◎
2カ月後										□	
6カ月			◎	◎	◎					□	◎
1年後			(○帰国後)								

【◎:ぜひとも[推奨] ○:できるだけ[推薦] □:できれば[推選] △:希望なら】
 (MMRV:麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査、IGRA:結核を否定する検査)

A型肝炎も必要。17歳までは6か月間隔での2回法で可。B型肝炎/ダニ脳炎の3回目およびA型肝炎2回目(3回目)は渡航に間に合わなければ現地で追加する。あるいは帰国後に追加することを忘れない。

英文証明書を持参。締め切りの合わせて最短では1週間後、通常は1か月後に発行。最終版は渡航時に合わせる。学童でもインターナショナルスクールへ入学なら、その学年に合わせてこの基準に準ずる。

髄膜炎ワクチンはA/C/Y/W135の4価ワクチン(MCV4)を接種する。B型を要求されることもある。

C) 東南・東アジア諸国へ留学（高校生、大学生）

接種日	Tdap	IPV	B型肝炎	A型肝炎	日本脳炎	腸チフス	狂犬病	MMRV	IGRA	インフル	HPV9	証明書
初日	◎	(○)	◎	◎	◎		○	◎	○	△	□	
1週間後							(○)	不足を追加				○
3～4週間後			◎	(○)	○	○	○	(◎)				◎
2カ月後											□	
6カ月			◎	◎	○						□	◎
1年後			(○帰国後)									

【◎:ぜひとも[推奨] ○:できるだけ[推薦] □:できれば[推選] △:希望なら】
 (MMRV:麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査、IGRA:結核を否定する検査)

日本脳炎は基礎免疫終了後で10年で1回追加。未接種なら1期分を計画し2回までは済ませる。帰国後に3回目を追加。

狂犬病は、WHO方式で2回までを証明する。哺乳類に、暴露後2回追加する。ベトナムは暴露前に3回必要な地域。

狂犬病の記録は、全体の予防接種記録とは別に、迅速対応できる英語表記のカードを作成する。

腸チフスおよびIPVは、南西アジア(インドおよびその周辺国・地域)で必要。

D) 中・南米諸国へ留学（高校生、大学生）

接種日	Tdap	IPV	B型肝炎	A型肝炎	髄膜炎	狂犬病	黄熱	MMRV	IGRA	インフル	HPV9	証明書
初日	◎	(○)	◎	◎		○		◎	○	△	□	
1週間後						(○)		不足を追加				○
3～4週間後			◎	(○)	○	○	◎	(◎)				◎
2カ月後											□	
6カ月			◎	◎							□	◎
1年後			(○帰国後)									

【◎：ぜひとも〔推奨〕 ○：できるだけ〔推薦〕 □：できれば〔推選〕 △：希望なら】

(MMRV：麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査、IGRA：結核を否定する検査)

狂犬病は、WHO方式で2回までを証明する。哺乳類に暴露後2回追加する。事前接種（暴露前）3回必要な地域もある。狂犬病の記録は、全体の予防接種記録とは別に、迅速対応できる英語表記のカードを作成する。髄膜炎/腸チフスは、国・地域による。郊外での生活なら追加する。黄熱は1回接種する。Yellow cardを持参する。

E) 中東・アフリカ諸国へ留学（高校生、大学生）

接種日	Tdap	IPV	B型肝炎	A型肝炎	髄膜炎	狂犬病	黄熱	MMRV	IGRA	インフル	ガーダシル	証明書
初日	◎	(○)	◎	◎		○		◎	○	△	□	
1週間後						(○)		不足を追加				○
3～4週間後			◎	(○)	◎	○	◎	(◎)				◎
2カ月後											□	
6カ月			◎	◎							□	◎
1年後			(○帰国後)									

【◎：ぜひとも〔推奨〕 ○：できるだけ〔推薦〕 □：できれば〔推選〕 △：希望なら】

(MMRV：麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査、IGRA：結核を否定する検査)

狂犬病は、WHO方式で2回までを証明する。哺乳類に暴露後2回追加する。3回必要な地域もある。狂犬病の記録は、全体の予防接種記録とは別に、迅速対応できる英語表記のカードを作成する。中東でも都市部は狂犬病の暴露前接種は不要。4価髄膜炎/腸チフスは国・地域で推奨する。黄熱はアフリカ対象地域で1回接種する。Yellow cardを持参する。

F) 短期(1-3か月程度)の語学研修（高校生、大学生）

接種日	Tdap	B型肝炎	髄膜炎	A型肝炎	MMRV	HPV9	証明書
初日	◎	○	○	○	◎	□	
1週間後					不足を追加		○
3～4週間後		○		(○)	(◎)		◎
2カ月後						□	
6カ月		○		○		□	○
1年後							

◎：ぜひとも〔推奨〕 ○：できるだけ〔推薦〕 □：できれば〔推選〕

(MMRV：麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査、不足分を追加)

北米の南部/西部の州はA型肝炎も必要。郊外での生活ならA型肝炎も追加する。17歳までは6か月間隔での2回法で可。入寮、スポーツ交流ならB型肝炎は必須。アジアなら日本脳炎の不足分、A型肝炎、狂犬病、腸チフスなど状況によって追加。

⇒破傷風を含むワクチンの説明；Tdap：成人および留学用の輸入DPTで破傷風を多く含む、DPT：DPT3種混合《破傷風ジフテリア百日咳》、DPT-P：4種混合《DPT+IPV(不活化ポリオ)》

⇒留学用に常備している輸入ワクチン：Tdap、A型肝炎(Avaxim)、MMR《麻疹風疹おたふくかぜ》混合(MMRII)、狂犬病(Verorab)、腸チフス(Typbar,TyphimVi)、ダニ脳炎(FSME-immune)、4価髄膜炎(Niemenrix)